

経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市国際交流協会	所管部署	総務局国際施策調整室
-----	------------------	------	------------

【1:経営の基本的考え方】

川崎市が期待する役割と経営改革	<p>①期待する役割</p> <p>○(公財)川崎市国際交流協会(以下「協会」という。)は、国際交流に関する事業を実施するとともに、市民による国際交流活動を推進するため、民間交流団体やボランティア等の活動を支援し、活動支援のための情報提供機能、ネットワーク機能、コーディネート機能、人材育成機能等を有する国際交流支援組織(以下「支援組織」という。)としての役割を担うことを目指す。</p> <p>○多文化共生を推進するため、外国人市民への日本語学習支援、平常時・災害時の情報提供、相談等、公共性や専門性の高いサービスの担い手としての役割を担う。</p> <p>○国際交流や多文化共生の推進にかかわる地域の課題について実践的な調査・研究を行い、地域課題の解決や新たな事業展開へとつなげる。</p> <p>②経営改革項目</p> <p>○協会事業(川崎市国際交流センター指定管理事業(以下「国際交流センター事業」という。)以外の、協会が実施する事業)の財務改善を行う。</p> <p>○国際交流センター事業の財務改善を行う。</p> <p>○安定的・継続的な経営を行うため、事業計画等の見直しを行う。</p>
法人のミッション	<p>協会は、川崎市の一層の国際化を図り、国際相互理解の増進と国際友好親善に寄与するために、市民や外国人のための情報提供や、国際理解・多文化共生のための講座などの事業を実施するとともに、交流促進のための民間国際交流団体、ボランティアの育成などコーディネート機能を高め、国際交流支援に努める。</p>
現状及び課題の分析	<p>○協会と国際交流センター指定管理者の、それぞれに求められる役割を改めて整理する必要がある。主に、公共性の高い、市民による国際交流活動の促進や多文化共生の推進などは、協会事業として、施設を活用した国際交流促進事業の展開、市民による活動の場の提供、民間のノウハウを活用した事業提案などは、国際交流センター事業として整理する。</p> <p>○今後も厳しい経営状況が見込まれるため、協会単独の事業実施では課題に十分に対応できなくなる恐れがあり、事業の方向性を見直す必要がある。これまで主だった、事業の実施主体としての機能から、民間交流団体、市民等の活動を促進し、関係機関を含めた様々な主体との連携により事業を実施する、支援組織としての役割をさらに推進していく必要がある。</p>
経営ビジョン	<p>民間交流団体、市民、関係機関、行政等と連携・協力しながら、市民による国際交流活動や多文化共生の推進を図る、支援組織としての役割を担うことを目指す。</p>

経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市国際交流協会	所管部署	総務局国際施策調整室
-----	------------------	------	------------

3カ年の目標と成果指標の体系	3年後の法人像	3カ年計画の目標	事業名	事業目的	最終アウトカム (最終的に求める効果)	中間アウトカム (事業実施の効果)	アウトプット (事業実施の成果)	
			国際交流促進事業	国際交流・国際相互理解を促進するため、相互理解の啓発や交流活動への参加促進を行う。	日本語・外国語による国際理解講座の受講者数	日本語・外国語による国際理解講座の満足度	日本語・外国語による国際理解講座の開催回数	
		市民による国際交流の推進			インターナショナル・フェスティバルの来場者数	留学生等の国際交流活動への参加者数	インターナショナル・フェスティバルの参加団体数	
		民間交流団体、市民、関係機関、行政等と連携・協力しながら、市民による国際交流や多文化共生の推進を図る		民間交流団体及びボランティア活動支援事業	市民による国際交流活動を促進するため、民間団体やボランティアの活動への支援を行う。	登録ボランティアの活動件数	各種ボランティア登録総数	ボランティア研修会開催
							かわさき国際交流民間団体協議会への登録団体数	共催・後援による活動支援事業数
		多文化共生の推進		多文化共生推進事業	多文化共生を推進するため、外国人市民への学習支援や地域社会で暮らすために必要な情報の提供を行う。	多文化共生推進イベント・外国人市民のための講座の参加者数	多文化共生推進イベント・外国人市民のための講座の満足度	多文化共生推進イベント・外国人市民のための講座の開催回数
					日本語講座の受講者延数	日本語講座受講者の年間継続率	日本語講座の開催回数	
			凡例:					
					: 法人としての自主業務・委託業務など			
					: 指定管理者としての業務			
				: 法人としての自主業務・委託業務と指定管理者の業務両方実施している場合				

法人の主な事業内容	A事業: 国際交流促進事業	国際交流・国際相互理解を促進するため、相互理解の啓発や交流活動への参加促進を行う。
	B事業: 民間交流団体及びボランティア活動支援事業	市民による国際交流活動を促進するため、民間団体やボランティアの活動への支援を行う。
	C事業: 多文化共生推進事業	多文化共生を推進するため、外国人市民への日本語学習支援や地域社会で暮らすために必要な情報の提供を行う。

経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市国際交流協会	所管部署	総務局国際施策調整室
-----	------------------	------	------------

3カ年の経営課題 (必ず財務の視点と業務の効率化の視点を含める)	A事業:国際交流促進事業	国際相互理解・友好親善のための機会を提供し、その機会を国際交流活動への参加の促進につなげ、すそ野の拡大を図る。
	B事業:民間交流団体及びボランティア活動支援事業	民間交流団体やボランティアの活動を支援し、市民による国際交流を推進する。
	C事業:多文化共生推進事業	外国人市民への日本語学習支援や情報提供などを通して、適切な行政サービスの享受や地域における外国人市民の交流活動の参加促進を図る。
	財務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・協会事業の財務改善(自主財源の確保、事務事業の効率化) ・国際交流センター事業の財務改善(利用料金収入増、事務事業の効率化) ・平成28年度からの次期指定管理の受託(指定管理料収入の確保)
	業務・組織の改革	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画等の見直し(次期指定管理受託を目標に事業計画・執行体制を見直す) ・職員の専門性の向上(各種研修への参加) ・各業務の点検の実施(各課の業務を半年ごとに点検、改善につなげる)

経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市国際交流協会	所管部署	総務局国際施策調整室
-----	------------------	------	------------

	項目	指標の種類	指標	指標の選定理由	目標値(単位)	目標値の設定根拠
指標と目標値の設定根拠	A事業:国際交流促進事業	アウトプット	国際理解講座の開催回数	国際相互理解のための学習機会の提供	11(回)	日本語・外国語による国際理解講座の平成24年度開催回数合計
		アウトプット	フェスティバルの参加団体数	多様な地域の団体との連携を図りながら交流の機会を提供	109(団体)	インターナショナル・フェスティバルの平成24年度参加団体数
		中間アウトカム	国際理解講座の満足度	サービス内容がニーズに合っているかの把握	87(%)	日本語・外国語による国際理解講座の平成24年度アンケート結果
		中間アウトカム	留学生等の参加者数	留学生等の活用による国際交流の推進	28(人)	平成24年度修学奨励金支給対象者・外国人ボランティアの、国際交流活動への参加者数
		最終アウトカム	国際理解講座の参加者数	社会への影響度	300(人)	日本語・外国語による国際理解講座の平成24年度参加者数合計
		最終アウトカム	フェスティバルの来場者数	社会への影響度	15,000(人)	インターナショナル・フェスティバルの平成24年度来場者数
	B事業:民間交流団体及びボランティア活動支援事業	アウトプット	共催・後援による活動支援事業数	団体との連携を通じた国際交流活動の促進	28(事業)	平成24年度共催・後援による活動支援事業数
		アウトプット	ボランティア研修会開催	ボランティア活動への意識の高揚	開催	ボランティア研修会開催
		中間アウトカム	各種ボランティア登録総数	市民等によるボランティア活動を通じた国際交流の推進	876(個人・家庭)	平成24年度各種ボランティア登録総数
		中間アウトカム	団体協議会への登録団体数	登録団体による活動を通じた国際交流の推進	64(団体)	かわさき国際交流民間団体協議会への平成24年度登録団体数
		最終アウトカム	登録ボランティアの活動件数	社会への影響度	411(件)	登録ボランティアの平成24年度活動件数
		最終アウトカム				
	C事業:多文化共生推進事業	アウトプット	外国人市民対象のイベント・講座の開催回数	外国人市民への情報提供、社会参加促進	5(回)	多文化共生推進イベント・外国人市民のための講座の平成24年度の開催回数合計
		アウトプット	日本語講座開催回数	外国人市民の学習支援	97(回)	日本語講座の平成24年度開催回数
		中間アウトカム	外国人市民対象のイベント・講座の満足度	サービス内容がニーズに合っているかの把握	96(%)	多文化共生推進イベント・外国人市民のための講座の平成24年度アンケート結果
		中間アウトカム	日本語講座受講者の年間継続率	サービス内容がニーズに合っているかの把握	35(%)	日本語講座受講者の平成24年度年間継続率
		最終アウトカム	外国人市民対象のイベント・講座の参加者数	社会への影響度	362(人)	多文化共生推進イベント・外国人市民のための講座の平成24年度参加者数合計
		最終アウトカム	日本語講座の参加者延人数	社会への影響度	279(人)	日本語講座の平成24年度参加者延人数
	財務改善	/	協会事業の自主財源	協会事業の財務改善	11,129(千円)	協会事業の平成24年度自主財源合計額
			利用料金収入	国際交流センター事業の財務改善	19,309(千円)	国際交流センターの平成22～24年度利用料金平均収入額
			指定管理事業の受託	指定管理料収入の確保	受託	次期(平成28～31年度)国際交流センター指定管理事業受託を目指す
業務・組織の改革	/	事業計画等の見直し	次期指定管理事業の受託に向けた見直し	見直し	効率的・効果的な事務事業の執行	
		各種研修への参加	職員の専門性の向上	25(回)	職員が参加した研修回数 25回	
		各業務の点検の実施	各課の業務を半年ごとに点検、改善につなげる	2(回)	市への年2回の報告(遂行状況報告、実施報告)の際に実施	

経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市国際交流協会	所管部署	総務局国際施策調整室
-----	------------------	------	------------

【2:行動計画】

計画期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日 (3 カ 年)
------	--

(1)A事業:国際交流促進事業

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
国際理解講座の開催回数	日本語・外国語による国際理解講座の平成24年度開催回数合計 11回	国際相互理解を増進するための学習機会を提供する。	11回	11回	11回
フェスティバルの参加団体数	インターナショナル・フェスティバルの平成24年度参加団体数 109団体	様々な地域の活動団体との相互連携を通して、国際交流を推進する。	109団体	109団体	110団体
国際理解講座の満足度	日本語・外国語による国際理解講座の平成24年度アンケート結果 87%	受講者へのアンケート等により、満足度、ニーズ等を把握し改善につなげる	87%	87%	87%
留学生等の参加者数	平成24年度修学奨励金支給者及び外国人ボランティアの参加者数 28人	修学奨励金支給対象者の留学生及び外国人ボランティアに積極的に国際交流活動に参加してもらう。	28人	28人	28人
国際理解講座の受講者数	日本語・外国語による国際理解講座の平成24年度受講者数合計 300人	受講者数の維持・拡大を図る。	300人	300人	300人
フェスティバルの来場者数	インターナショナル・フェスティバルの平成24年度来場者数 15,000人	来場者数の維持・拡大を図る。	15000人	15000人	15200人

経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市国際交流協会	所管部署	総務局国際施策調整室
-----	------------------	------	------------

(2)B事業:民間交流団体及びボランティア活動支援事業

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
共催・後援による活動支援事業数	平成24年度共催・後援による活動支援事業数 28事業	民間交流団体の相互連携を通して国際交流活動を促進する。	28事業	28事業	29事業
ボランティア研修会開催	ボランティア研修会の開催	ボランティア活動への意識高揚の促進	開催	開催	開催
各種ボランティア登録総数	平成24年度各種ボランティア登録総数 876個人・家庭	市民等による国際交流ボランティア活動を促進する。	876個人・家庭	876個人・家庭	880個人・家庭
団体協議会への登録団体数	かわさき国際交流民間団体協議会への平成24年度登録団体数 64団体	登録団体による国際交流活動を促進する。	64団体	64団体	65団体
登録ボランティアの活動件数	登録ボランティアの平成24年度活動件数 411件	登録ボランティアによる国際交流活動を促進する。	411件	411件	415件

(3)C事業:多文化共生推進事業

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
外国人市民対象のイベント・講座の開催回数	多文化共生推進イベント・外国人市民のための講座の平成24年度の開催回数 合計5回	外国人市民に対し、生活に必要な情報や交流の機会を提供し、日本への理解と社会参加の促進を図る。	5回	5回	5回
日本語講座開催回数	日本語講座の平成24年度開催回数実績 97回	外国人市民の日本語学習を支援する。	97回	97回	97回
外国人市民対象のイベント・講座の満足度	多文化共生推進イベント・外国人市民のための講座の平成24年度アンケート結果 96%	参加者へのアンケート等により、満足度、ニーズ等を把握し改善につなげる。	96%	96%	96%
日本語講座受講者の年間継続率	日本語講座講座受講者の平成24年度継続率 35%	日本語習得に向けた支援につなげる。	35%	35%	35%
外国人市民対象のイベント・講座の参加者数	多文化共生推進イベント・外国人市民のための講座の平成24年度参加者数合計 362人	参加者数の維持・拡大を図る。	362人	362人	370人
日本語講座の受講者延人数	日本語講座の平成24年度受講者延人数 279人	受講者の国際理解の促進を図る。	279人	279人	285人

経営改善計画

法人名	公益財団法人 川崎市国際交流協会	所管部署	総務局国際施策調整室
-----	------------------	------	------------

(4) 財務の改善

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
協会事業の自主財源	協会事業の平成24年度自主財源合計額 11,129千円	協会事業の自主財源のさらなる確保を行う。	13,037千円	13,037千円	13,037千円
利用料金収入	国際交流センターの平成22～24年度利用料金平均収入額 19,309千円	施設稼働率の改善等により利用料金収入の増加を目指す。	19,502千円	19,691千円	19,894千円
指定管理事業の受託	平成23～27年度国際交流センター指定管理事業受託	平成28年度からの国際交流センター指定管理受託により、指定管理料収入を確保する。	第2期受託	第2期受託	第3期受託

(5) 業務・組織の改革

目標項目	現 状	行動計画	スケジュール		
			H26年度	H27年度	H28年度
事業計画等の見直し	平成23～27年度国際交流センター指定管理事業受託	平成28年度からの国際交流センター指定管理受託に向け、さらなる効果的・効率的な事業計画と適正な執行体制の見直しを行う。	見直し	見直し	実施
各種研修への参加	職員が参加した研修回数 25回	職員の専門性の向上を図るため、各種研修への参加を積極的に行う。	25回	25回	25回
各業務の点検の実施	各課で年1回実施	年2回の市への報告(9月末の遂行状況、3月末の実施)の際に、各課で業務の進捗状況等について点検を行い、改善すべき点を確実に次期に反映させる。	2回	2回	2回

資金計画表

〔平成26年度～平成28年度〕

法人名： 公益財団法人 川崎市国際交流協会

(単位:千円)

項目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
経常収支	収入【協】	補助金収入	30,523	30,523	30,523
		事業収入	12,753	12,753	12,753
		負担金収入	154	154	154
		雑収入	130	130	130
		基本財産利息収入	2,797	2,797	2,797
		(上記有価証券取得支出分207千円除く)			
	収入【七】	指定管理事業受託収入	54,571	54,269	54,269
		センター利用料金収入	19,502	19,691	19,894
		その他	5,357	5,357	5,357
		経常収入合計	125,787	125,674	125,877
	支出【協】	事業費	15,776	15,776	15,776
		管理費	4,479	4,479	4,479
		人件費	25,895	25,895	25,895
		減価償却費(△)	0	0	0
	支出【七】	事業費	9,552	9,552	9,552
		管理費(減価償却費含む)	38,325	38,159	38,336
		人件費	30,875	30,875	30,875
		減価償却費(△)	-174	-121	-95
		法人税等支払	852	852	852
		経常支出合計	125,580	125,467	125,670
	経常収支	207	207	207	
投資収支	固定資産取得支出	0	0	0	
	固定資産売却収入	0	0	0	
	投資等収支	0	0	0	
財務収支	借入れによる収入	0	0	0	
	借入金償還による支出	0	0	0	
	利息/配当金の支払	0	0	0	
	財務収支	0	0	0	
現金預金増加高		207	207	207	
期首現金預金		9,246	9,420	9,541	
期末現金預金		9,453	9,627	9,748	